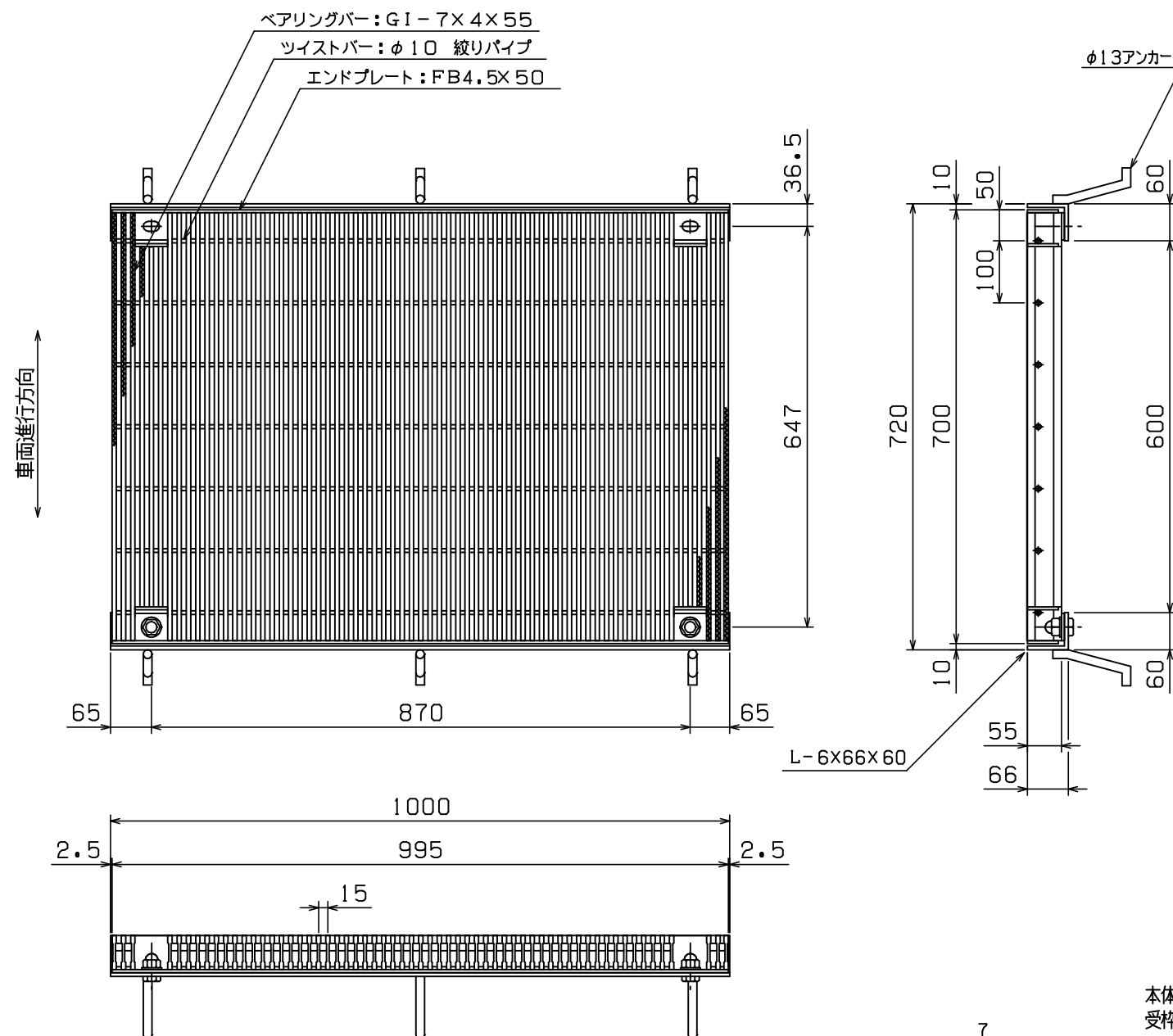




主部材ノンスリップ部詳細

本体重量: 108.9Kg
 受枠重量: 12.5Kg

< 表面処理 >

本体: 溶融亜鉛メッキ
 受枠: 黒ペイント塗装

担 当	製 図	検 図	尺 度	作図日	工事名
	戸 田	伊 藤	1/10	年 月 日	
タイヘイグレーチング 石田鉄工株式会社					図面番号 GTJPH55-6A T-20E
					図面名称 GTJPH 700×995×55 Lアングル Aタイプ

◇ 荷 重 計 算 ◇

設計条件

荷重基準: 鋼道路橋等設計示方書による
 荷 重: T-20 (後輪一輪荷重: 8000Kg)
 載荷寸法: 500mm × 200mm (等分布負載)
 許容応力: $\sigma_b = 18.0 \text{ Kg/mm}^2$ (SS400使用)
 衝撃係数: $i = 0.4$
 スパン: $L = 600 \text{ mm}$

W : 主部材が支える最大後輪一輪荷重 (Kg)
 N : 荷重を受ける主部材本数
 (Z) : 主部材断面係数 (mm^3)
 S : 溝幅方向載荷寸法 (mm)

荷 重 計 算

「横断溝」(溝幅 > 載荷寸法 S の場合)

$$W = \frac{8 \sigma_b Z}{2L - S} = \frac{8 \times 18 \times Z}{2 \times 600 - 200} = 0.144 \times Z$$

$$Z = N(Z) = 34 \times 3.115 \times 10^3 = 105.91 \times 10^3$$

$$\therefore W = 0.144 \times 105.91 \times 10^3 = 15.25 \times 10^3 \text{ (Kg)}$$

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 15.25 \times 10^3 \\ &= 38.1 > 20 \end{aligned}$$

衝撃係数考慮の場合

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times \frac{1}{1+i} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 0.714 \times 15.25 \times 10^3 \\ &= 27.2 > 20 \end{aligned}$$

以上より T-20 となる